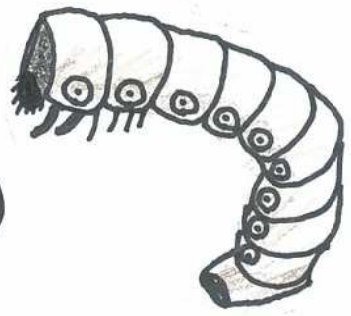
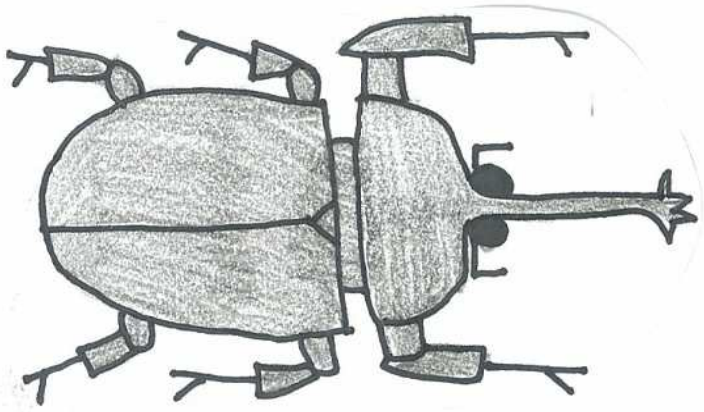
オスのカブトムシのよう虫とせい虫の大きさ調べ





滝野川第三小学校
３年児童

1.けんきゅうした理由

ぼくは 昆虫が大すきで、カブトムシをずっとかっている。育てているうちに、同じようにせわをしていても、せい虫の大きさにちがいがあることをふしぎに思った。

そこで、よう虫の大きさが、せい虫の大きさにかんけいするのではないかと思い、よう虫の重さをはかって調べることにした。オスとメスでは大きさにちがいがあるため、今回はオスについて調べることにした。

2.よそう

カブトムシは、せい虫になってからは、大きくならないので、小さいよう虫は小さいせい虫に、大きいよう虫は大きいせい虫になるとよそうした。

3.けんきゅうの方ほう

(1)よう虫とせい虫の重さ調べ

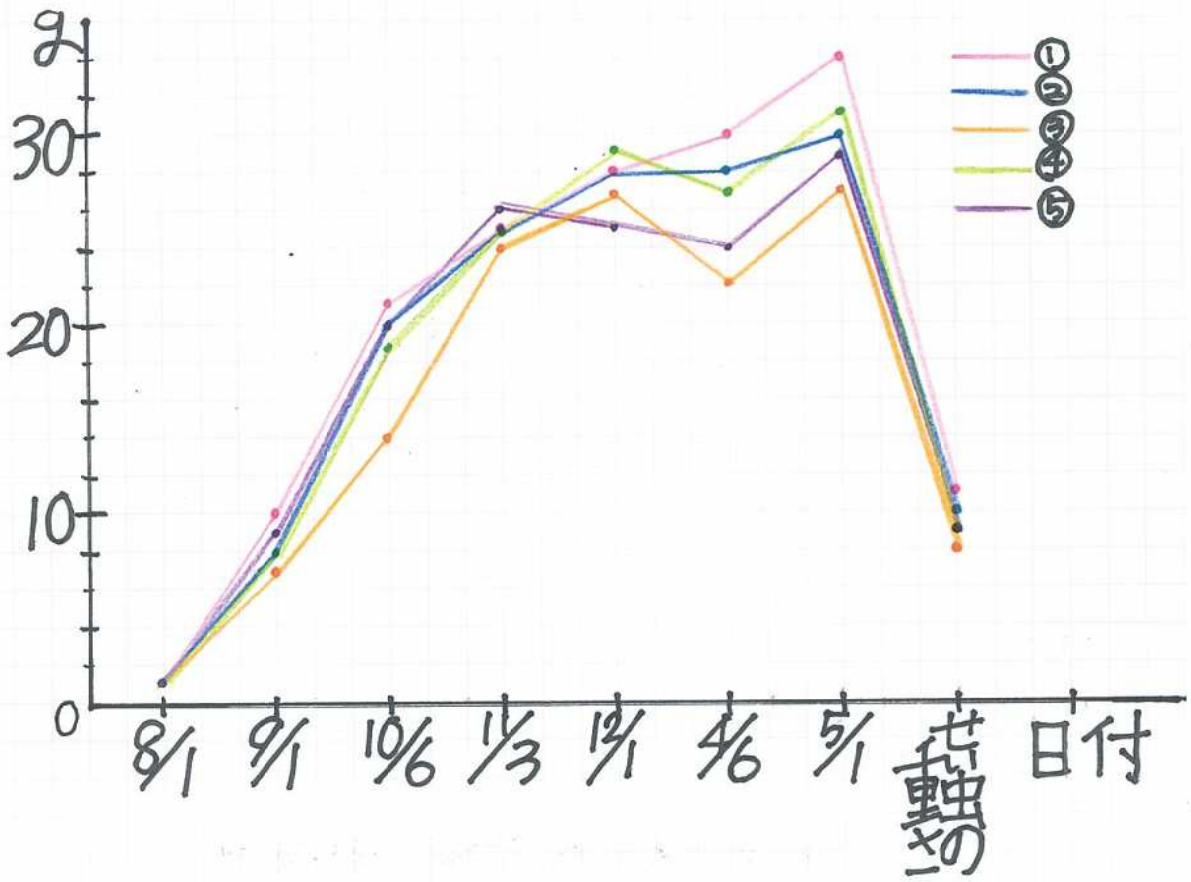
よう虫に番号をつけ、そのよう虫をさなぎになるまで、1ヶ月に1回重さをはかった。(1月～3月はよう虫が冬みんしているため重さをはかれなかった。)その後、土からでてきたせい虫の重さをはかった。(図1)

(2)せい虫の大きさ調べ

それぞれのよう虫のせい虫の重さと体長をはかった。(図2)

4.けっか

(1)よう虫とせい虫の重さ調べ（図1）



(2)せい虫の大きさ調べ　（図2）

	①	②	③	④	⑤
せい虫の体長	82mm	75mm	72mm	70mm	74mm
重さ	11g	10g	8g	9g	9g

5.分かった事

よう虫のときに重かったよう虫ほど、せい虫になっても重さが重かった。しかし、せい虫の体長については、重さが重いからと言って、長く(大きく)なるわけではなく、同じ重さでも体長にはちがいがあった。

6.けんきゅうのまとめ

今回のけんきゅうけっかから、よう虫が重いからと言うだけで、せい虫が大きくなるわけではない事が分かった。カブトムシのせい虫の大きさについては、よう虫のときのし育スペースの大きさやマットのじょうたいなどのさまざまな事がかんけいするのではないかと思う。　これからも大きくりっぱなせい虫になるように、カブトムシを大切に育てていきたい。